

きれいな海であそび隊プロジェクト 「海苔のふるさと体験と東京湾の今・昔」について

きれいな海であそび隊プロジェクトは、日本財団のご支援をいただき、親子で海をきれいにして、きれいになった海での体験活動を行なうプログラムです。

日 時：2013年3月2日（土）

場 所：大森 海苔のふるさと館

参加人数：25名

助 成：日本財団

共 催：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

後 援：なぎさの会 目黒川で泳ぎ隊 勝島運河倶楽部

協 力：特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 丸八丸

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会の協力のもと、昨年にひきつづき、「海苔のふるさと体験と東京湾の今・昔」を実施しました。

9時50分、海苔のふるさと館に集合。風は強いものの、晴天に恵まれ、後で気づくことですが、漉いた海苔を乾かすには格別の日和となりました。



10時00分、館内へ移動。説明を行う2階で受け付けを行い、早速開会式へ。



代表の宮田より、当日の流れを簡単に説明した後、江戸前、浅草のりと言われた、大森地区の海苔の歴史などについて、ふるさと館高橋様より解説をいただきました。

開会式の後には早速、作業場へ移動し海苔漉き体験へ。



海で採れた海苔を細かく粉砕する際、現在では動力を用いた粉砕機を利用するが、以前は職人の手作業によって行われていたとのこと。



続いて粉碎され、水に溶かされた海苔を型枠に流し成形する海苔漉き体験へ。

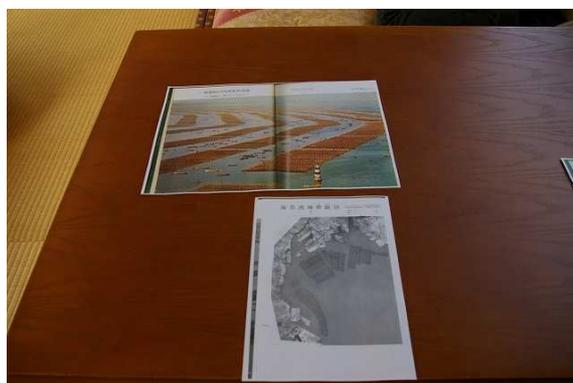


3回目とはいえ、1年ぶりに行う海苔漉きはなかなか難しく、厚みを均等に広げることができません。全員の海苔漉きが終了すると、遠心分離により、漉いた海苔に含まれる水気を切り、屋外で乾燥させます。



屋外では、漉いた海苔を太陽にかざし、均一にできているか確認します。さらに棚に取り付け、海苔を乾かします。

海苔を乾かす間、各自昼食や館内見学を行います。13時30分、再度海苔のふるさと館前で集合し、今度は東京湾へクルージング。船の中では東京湾の今昔を比較します。



船はお台場へ。



ふるさと館へ戻ると、海苔はすっかり乾燥しています。
今度は海苔を簀子から剥がします。



大森海苔のふるさと館の皆さま、丸八丸の皆さま、ご協力ありがとうございました。
この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

私たち「水と緑の環境ネットワークの会」では、今後も、山、川、海の自然をフィールドにした環境保全活動を計画しています。

皆様のご参加、ご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。